

「フェイクを見極める」

開催地：新潟

グループ： 1班

2021.08.19

- 1.フェイクについて
- 2.フェイクが起きやすい所は？
- 3.なぜフェイクは広まるのか？
- 4.フェイクに騙されない対策は？
- 5.【提言】過去の事例の反省
- 6.【提言】これから気をつけること



フェイクについて

フェイクの種類についての見解

- [1]人を騙すために書かれている偽情報
- [2]間違いを自覚せず書かれている誤情報
- [3]読み手に誤解を与えやすい偏った情報



フェイクが起きやすい所は？

①情報を早く伝えたいとき

②情報の需要が高いとき

③情報がSNSなどで多数の人に共有できてしまうことを理解していないとき



災害などで人が混乱している際に、普段引っかからないような面白半分で投稿されたフェイク情報に騙されてしまう。

情報が枯渇している際に、面白半分で偽情報を出している

何が起きるか分からないからこそ、無責任な行動がとれてしまう。

なぜフェイクは広まるのか？

発信するときは...

- ・ 気軽
- ・ 軽い気持ち
- ・ 突発的

しかし...

数万人の人が見ていて、与える影響は大きい

フェイクに騙されない対策は？

- ①ひとつだけの情報を鵜呑みにせず、複数個の情報から共通点を見出し、正しい情報を考える
- ②発信されている情報に信憑性があるのかどうか
事実か情報の発信源を探る
- ③個人で、過去の事例と照らし合わせながら確認する

【提言】過去の事例の反省

【フェイクをつくった側】

- ・ 誹謗中傷で、人が亡くなるまで想定できなかった
- ・ 誤情報を発信することが、犯罪になるまで想定できなかった
- ・ 発信力の強い企業が誤った情報を発信することで、悪意ないが問題が起こってしまった

【フェイクを信じて誤情報を広めた側】

- ・ フェイクを信用し、広めたことで加害者になってしまった

【提言】 これから気をつけてほしいこと

- ・ SNSでの発言の広がりやすさを十分理解してほしい
- ・ フェイクを広めることが犯罪になりうることを過去の事例から学んでほしい
- ・ 混在する情報を全て鵜呑みにせず、様々なサイトや見解と照らし合わせてほしい

